

令和元年度 第2回大口町地域包括ケアシステム推進協議会 議事録

令和2年2月21日（金）

健康文化センター1階 機能回復訓練室

議事録

発 言 者	発 言 内 容 (開会委 午後1時30分)
部 長	あいさつ 本年度2回目の推進協議会となります。本日は、令和元年度の取り組みについて、皆さんと一緒にふりかえりながら、できている事や足りない部分を確認し、令和2年度に向けての意見交換をお願いします。
課 長 補 佐	議題1「地域包括ケアシステムの構築に向けたとりくみ」 説明（資料1、2、3）
	質疑応答 なし
委 員 長	議題2「今後に向けて」 それぞれの立場から皆さんのご意見や感想など、お聞かせください。
地域自治組織代表	本年度は、平成29年度から進めている地域計画の中間評価を行う年になっています。3年間の取り組みをふりかえる中で、福祉部会においては、今後も地域包括ケアの体制づくりを最重要課題で取り組んでいくこととして合意されています。 また北地域自治組織の福祉部会では、これまで健康文化センターで開催していた『福祉の集い』について、地域住民に浸透しやすいよう各地区で実施することにしました。本年度は下小口学共で開催しましたが、令和2年度は上小口で実施する予定です。
識見を有するもの	春日井市で市民代表の委員として、地域福祉活動計画の策定（事務局：地域福祉課&社会福祉協議会）に参加していますが、課題が2つ見えてきましたので紹介します。 一つ目は、地域づくりの担い手について。計画策定に向けたアンケートにおいて、ボランティアをやりたくないという人が6割もいることに驚きました。まちづくりのプラン（地域福祉計画）はあっても実行性が伴わないのではと危惧しています。 二つ目は、地域包括ケアシステムは市民が主人公であるはずなのに、無関心層が多い、つまり市民に届いていないようです。確かに多職種連携は進んでいますが、自己満足で終わらせることのないよう、住民の暮らしを支える専門職の取り組みこそ、市民に共有していく必要があると思います。また、今後は洗い出した課題を課題として終わらせるのではなく、地域課題としてまとめていく必要があると思います。

尾北医師会	<p>尾北医師会では、本年度、岩倉市医師会と連携して、『防災・避難支援ワーキンググループ』を立ち上げました。関係するそれぞれの皆さんから現状をお聞きする中で、在宅避難者への支援のあり方について、意見交換を行いました。令和2年度も引き続き、関係機関がどのように連携していくか等について深めていきたいと考えています。</p> <p>また、住民啓発部会を中心に活動している『出前講座』も引き続き</p>
地域包括支援センター 管 理 者	<p>資料 No.2にもありましたが、地域課題を検討する『地域ケア会議』の開催については、課題になっています。</p> <p>個別ケースを検討する会議で挙がってくるのは、『金銭管理（ができない、お金がない）』『身元保証（がない）』『身内（キーパーソンとなる親族等がない）』『サービス（がない、につながらない）』の『ないないづくし』ですが、このような課題こそ、多職種で検討し、支えていく必要があると考えています。</p> <p>また、相談者（相談対象者）の多くが80代となっており、もう少し早い時期で相談を受けていれば…と思うこともあります。来年度は、新たに単身高齢者や高齢者世帯としてリストアップされる方を対象に地域包括支援センターを知ってもらえる啓発活動を行ってきたいです。</p>
大口町社会福祉協議会 局 長	<p>課題を抱えて暮らしているのは、高齢者だけではなく、障がい者もいます。8050問題といわれるように、高齢化した親と障がいを持つ子、親子の場合もあります。社会福祉協議会で支援している家庭の多くは、金銭管理に加え、生活を支える取り組みも求めており、『包括的支援』の必要性を実感しています。</p>
地域協働課長	<p>本年度3月には、平成30年10月に設置した『大口町これからの地域づくり検討会』の中間報告を行う予定です。</p> <p>地域への期待は大きく、ますます地域力が求められる一方、高齢化に加え、地域内における担い手不足は課題になっています。また防災の観点では、在宅者の避難支援についても検討すべき課題と考えており、少し頓挫しておりましたが、避難行動要支援者についても改めて検討していく必要があります。</p>
住民団体代表	<p>これまで大口町では、協働の取り組みとして、行政とどこか団体や地域のつながりづくりを実施してきましたが、これからは、ひとつのテーマを中心に色々な関係者が一緒に『総働』で取り組んでいく必要があると思います。1月下旬に開催した『大口町まちづくり協働フォーラム』では、地域づくり（地域課題の検討）に欠かすことのできない『防災』をテーマに総働のあり方について、中地域の皆さんの協力で『円卓会議』を実施し、参加者の皆さんに見ていただきました。</p>

	<p>3つの地域で実施された『認知症徘徊高齢者捜索訓練』に参加しましたが、地域の皆さんの意識は高くなってきていると感じています。今月初めに開催された『地域懇談会』においては、75歳以上であっても元気な方は多く、まだまだ地域の担い手で頑張っていく、高齢者扱いしないでほしいというお言葉も出ていました。</p>
地域医療連携室代表	<p>最近、ケマネジャーや施設の相談員さんから『レスパイト入院』の相談が増えています。対象となる方たちの多くが、在宅復帰が困難になっていて、病院の相談員として、地域課題の一つであると感じています。また、身寄りのない方やあっても親族等との関係性の薄い方、場合によってはキーパーソンが友人という方も少なくありません。身元保証の課題についても今後検討すべき事項であると思います。</p>
町内介護事業所代表	<p>この時期は、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症についての課題も考えられます。</p> <p>単身高齢者や高齢世帯に限った話ではなく、同居の家族がいても、認知症等により自ら病状を伝えられない高齢者もいますし、食事や入浴、服薬管理等家族の協力が得られにくい家庭もあります。サービス開始時にいただいている緊急連絡先等も含め、それぞれの状況を再アセスメントする必要があると感じています。</p>
大口町介護支援専門員連絡会代表	<p>要介護認定を受けている方の支援をしているケマネジャーとしては、地域の皆さんにはお願い事ばかりで恐縮ですが、高齢者（要支援・要介護認定者）が地域の方に「助けてほしいこと」をどう伝えていくかについても、今後の課題だと思えます。</p> <p>例えば、避難所での生活を想像してみると、「自分でトイレは使用できるか?」「自身で準備しているものも含めてオムツはあるか?」等様々な課題が考えられます。またデイサービス利用時に発災した場合であれば、身体の置き場や食料はあるが、「薬の予備はあるか?」や「薬について、どこに相談したらよいのか?」等考えさせられる課題はいくつかあります。逆にデイサービスを利用していない時であれば、食料の確保についても課題になっていくと思われれます。</p>
町内高齢者施設代表 施設長	<p>御桜乃里では、本年度、デイサービスの利用者アンケートとして、ユーザー評価を実施しました。結果をまとめ、それぞれ利用者のご家族に見ていただける場をつくとともに意見交換会を実施予定です。</p> <p>また、高齢者虐待については、全国的な課題になっており、毎年右肩上がりでの発生件数が増加しています。その要因として、介護者の技術不足、知識不足、倫理観の欠如が挙げられていますので、施設として、特に経験年数の浅い職員に対し、改めて、基礎知識について学べる機会をつく</p>

	っていきます。
尾北歯科医師会代表	今、『口腔フレイル』について、注目されています。 高齢者の口腔ケアについては、それぞれ対象者の主治医にご相談していただければよいと思います。
副委員長	個別ケア会議にも専門職の登用が求められていますので、薬剤師としても協力できる体制を整えていますので、お声かけください。 また介護申請となるキッカケの一つに骨折があげられるとのことでしたが、さらに骨折の要因についても掘り下げると、転倒だけでなく、疾病によるもの、また薬剤投与による場合等考えられますので、今後の検討課題にしていきたいです。 薬剤師会においても『防災マニュアル』必要性を感じているところで、地域性を大切にしながら検討していければと思います。
国立長寿医療研究センター	「住まい」が弱いと思います。住まいについては、住宅の環境整備も含めて検討していく必要があります。介護保険制度で実施する住環境整備について、地域ケア会議にかけ、専門職の視点を取り入れながら実施している自治体もあるようです。 多剤服用の課題について、ポリファーマシーについては、薬剤師や医師の助言をいただきながら進めていかなければなりません。また、オーラルフレイルが全身の健康状態に大きな影響を及ぼすことから、高齢者の重症化予防として、オーラルフレイル予防は欠かすことのできない取り組みになっています。 最後に、多職種連携においては、連携するということに加え、専門職同士がお互いをモニタリングできるしくみとしてもご活用ください。
委員長	最後に、部長から本年度の振り返りをお願いします。
部長	日々、事例から学んでおり、色々と切実な課題があることが分かってきました。次年度は、取り組むべき課題から着実に解決策の検討を進めていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願い致します。
課長	その他の連絡事項についてはありません。 本年度最後の推進協議会となりましたが、委員の皆様への委嘱期間は、令和2年7月31日までとなります。なお、令和2年度第1回地域包括ケアシステム推進協議会は、7月を予定しております。改めてご連絡しますので、来年度も引き続きよろしくお願い致します。
閉会	(閉会 午後2時50分)